

長畑ひろのり



News vol. 188

6月定例議会における質問②

・新池の都市公園化について

【長畑質問】 新池は「防災重点ため池」に含まれているのか。

【都市整備部長答弁】 指定されている。

【長畑質問】 具体的にどういう対策を取らなければならないのか。

【都市整備部長答弁】 ため池下流域に対する防災・減災対策のため、耐震診断やハザードマップ作成等ソフト対策を中心に取り組むこととなる。

【長畑質問】 仮に線状降水帯が新池を襲った場合、決壊することはないのか。

【都市整備部長答弁】 200年確率、1時間132mmの降雨を想定し、水利計算を行い設計している。

【長畑質問】 地震により決壊することはないのか。

【都市整備部長答弁】 耐震診断の結果、大規模地震が発生した後も直ちに決壊しないのを確認している。

【長畑質問】 では、線状降水帯と地震が同時に起こった場合でも決壊はしないのか。

【都市整備部長答弁】 同時発生は計算は行っていないが、ため池の決壊は堤防から水が越流することで発生する。想定外の状況には、運用に支障のない範囲で水位の調整をするなどの対策が考えられる。

【長畑質問】 そううまく行くとはいえない。改めて本市「ため池ハザードマップ」を見ると、大雨か地震かで新池が決壊すると浸水深は1.0m以上3.0m未満、1階の軒下まで浸水となる箇所がある。最悪の場合、1階は天井まで全て水に浸かると言うこと。

つまり、新池の西側が危険であるのは間違いなく、これは問題でないかと思うが。

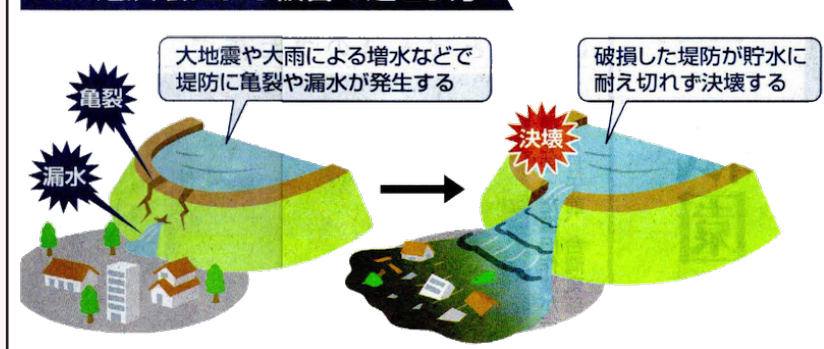
【都市整備部長答弁】 ハザードマップは、自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設などを表示した地図となっている。

このハザードマップを通じ、日頃の備えなど地域防災意識の向上をめざすものと考えている。

【長畑質問】 そこは理解している。しかし、ハザードマップで危険な地域と指定された箇所を減らしていく、それも行政の務めでは。

【都市整備部長答弁】 危険に対して物理的に対策するハード対策は重要であり、それと同時に、日頃の施設の維持管理、並びに情報発信や意識醸成などのソフト対策も重要であると考えます。

ため池決壊による被害の起こり方



産経新聞 夕刊（2024年4月8日）より

【長畑質問】 新池の面積、そして、比較するために市立岡部小学校グラウンドの面積はいくらか。

【都市整備部長答弁】 新池の面積は28,310㎡、岡部小グラウンドの面積は8,553㎡。

【長畑質問】 新池は岡部小学校グラウンドの約3.3倍もある広大な土地。この大きさなら他市の都市公園と比較しても見劣りすることはなく、整備をすれば自慢できる公園になるのは間違いない。しかし、放っておくとこれほど危険なものはない。

新部長として、新池の都市公園化については今後どう取り組んでいく予定か。

【都市整備部長答弁】 関係者との協議内容は別とし、過去の答弁から、公園施策の観点において拠点となる公園整備の推進、農業施策の観点において適正なため池の維持管理など新池の一部を都市公園にすることで、両施策の推進や課題解決には非常に有効な手段と認識している。このように、現段階において事業の効果は認められることから、今後は事業の実現可能性を検討する。（裏面へ続く）

文章は、弱視の方にも読みやすい可読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。

公式サイト（4コマ漫画も掲載中）

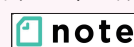
<http://nagahata.jp>



日々の主な活動



政治以外の話題



【長畑要望】 これまで、水利組合との協議を盾に本市の考えは出さないように対応されていた。しかし、新部長になり市としての前向きな考えを聞くことができた。東市長も現時点の最善手であると認識していることから、市の今後の動きに期待する。

ただ、今回の質問において、本市の安心安全な環境がおびやかされる可能性については残念ながら消えることがなかった。事業を行うには費用対効果が重要となるが、新池の都市公園化については、それ以前の問題が明らかになったと思う。市民の生命と財産を守るのが市としての最大の使命であるのなら、早急に新池を都市公園にすることを要望する。

2月定例議会における質問③

・旧国道170号の明示について

場所は、西中野交差点より北側の府道（旧国道170号）で、寝屋川市との境界近くとなります。

【長畑質問】 旧国道170号は、第二京阪道路ができた以降車の通行量が増えており、少しでも往来する車の擦れ違いをスムーズにする、加えて歩行者や自転車の安全確保が必要。そのためにも、現状の道路幅員（以下、「幅員」と言う。）を少しでも広げる方法はないかと考えるべき。そこで考えたのが、讃良川から四條畷市側の数百メートルを、道路と民地との境界を確定させることであり、結果、数十センチは幅員が広がる可能性はある。

右下2枚の画像（画像①②）は四條畷市内で、寝屋川市との境界付近。その画像①を近づいて撮影したのが画像②。画像②から分かるように、境界を示すコンクリート杭があったり、その右にもブロックの天端をモルタルで塗ったようなラインが出ていたり、左にはアスファルトのラインが出ていたりしているが、どこが道路境界か。

【都市整備部長答弁】 左側縁石から30cm右側で、コンクリート杭から直線上に延ばしたところが道路境界になると大阪府から聞いている。

【長畑要望】 幅員が広がるのは分かった。狭い道路は10cm単位で車の擦れ違いはもちろん、人や自転車の安全も確保されるのにもったいない。ぜひ、境界まで道路の拡幅を大阪府に伝えることを要望する。



画像①



画像②

【長畑質問】 画像①の道路について、延々と左側道路沿いに位置する側溝（U字溝）は、誰の所有か。

【都市整備部長答弁】 道路境界は確定していないが、大阪府が認定道路として管理している。

【長畑質問】 U字溝をL型側溝（画像③）に変えるだけで幅員が広がると思うが。

【都市整備部長答弁】 脱輪の危険性がなくなり、幅員が広がれば通行しやすくなると考える。

【長畑質問】 どの程度広がるのか。

【都市整備部長答弁】 幅員は25cm程度広がる。

【長畑要望】 プラス先の質問の道路境界もはっきりさせれば、最低でも50cmは幅員

が広がる。ただ、これは私が

考えたひとつの手段。

道路沿いに住まわ

れる方にとっ

ては、今以上

に車が建物に

近づいてくる

ので了承は必

要。また、自治会と

の協議も必要となる。

しかし、市道では

ないので、実行する

かどうかの判断は残

念ながら大阪府の範

疇となる。

そのため、今回の

私の一般質問の内容

を、大阪府と共有す

ることを要望する。



画像③

ひろのり物語（港区編 ②8）

絵：長畑ひろのり

